

研究課題 : 循環器疾患における歯周病の関与を解明し進展予防に寄与する臨床研究

研究者名 : 鈴木淳一

所 属 : 東京大学大学院先端臨床医学開発講座

緒言

近年、歯周病が循環器疾患のリスクを高めることが報告されている。本臨床試験の目的は、循環器疾患の病態において歯周病罹患状態や歯周病細菌がどのように関与しているかを明らかにすることである。

方法

平成24年5月から同年8月までに東京医科歯科大学病院循環器内科に入院した患者のうち、同意を得た160人について、入院時の疾患別の全身状況、口腔内状況について調査した。患者は狭心症／心筋梗塞患者群 (A群 : 67人) とその他の循環器系疾患群 (B群 : 93人) の2群に分けた。全身的診査項目としては合併症の有無、血中のCRP、口腔内診査項目は歯数、代表歯のプロロービングポケット深さ (PPD)、臨床的アタッチメントレベル (CAL) の測定であり、2群で比較検討を行った。また、血液のサンプルから *P. gingivalis* (*P.g.*)、*A. actinomycetemcomitans* (*A.a.*) に対する血清抗体価を計測した。

結果

全身状態としては、A群はB群と比較し、糖尿病や高血圧、脂質異常症を合併している人が多かった。CRPは両群で有意な差はなかった (A群 0.7 ± 2.1 、B群 0.5 ± 1.2)。次に口腔状態としては、欠損歯はA群で有意に多かった (A群 13.5 ± 8.0 、B群 9.4 ± 7.2 , $p < 0.05$)。また被験者ごとのCPIの最大値の平均値はA群で大きい値を示し (A群 2.7、B群 2.4)、平均PPD、CALもA群で大きい値を示した (PPD; A群 2.5 ± 1.2 、B群 2.3 ± 0.9 、CAL; A群 3.1 ± 1.7 、B群 2.8 ± 1.3)。抗 *P.g.*血清抗体価はA群で高く (A群 70479.31unit/mL、B群 36349.65unit/mL)、抗 *A.a.* (A群 48116.69unit/mL、B群 41041.4unit/mL) 血清抗体価に差はなかった。

結語

狭心症／心筋梗塞患者において、欠損歯数が多く、*P.g.*に対する血清抗体価の上昇が認められた。